

平成 25 年度 学長表彰(特別賞)受賞報告

レスキューロボットコンテスト出場チーム「六甲おろし」支援職員グループ

工学研究科技術室構成員である福井喜一郎(機械系技術分野グループ)、義澤康男、中辻秀憲(以上、工作系技術分野グループ)の3名の技術職員が『レスキューロボットコンテスト出場チーム「六甲おろし」支援職員グループ』として平成25年度(2013年度)学長表彰(特別賞)を受賞した。表彰式が平成25年10月17日(木)16:00から神戸大学出光佐三記念六甲講堂に於いて行われ、福田秀樹学長から表彰状が授与された。



(学長より表彰状授与)

[表彰理由]

福井喜一郎技術職員を代表とするレスキューロボットコンテスト出場チーム「六甲おろし」支援職員グループは、2004年からレスキューロボットコンテスト(以下「レスコン」という。)の出場チームを支援し続けている。特筆すべきは、2008年のレスコンにおいて、支援していた学生チームが総合優勝し、本学において学生表彰を受賞した。また、2011年のレスコンにおいては、総合評価ポイント第1位を獲得し、翌年の2012年レスコンにおいては、総合評価ポイント第2位を獲得し、そのコンセプトが評価され「消防庁長官賞」を受賞し、本学において学生表彰を受賞した。

さらに、同グループは、2008年以降、神戸市立長尾小学校で全校生徒を対象とした防災授業、須磨パティオホールにおけるイベント、神戸市産業振興局主催「こうべロボット夢工房 in フルーツフラワーパーク」及び第二回灘区総合芸術祭等でレスキューロボットのデモンストレーションと操縦体験を実施して地域や社会に貢献している。

以上のように、同グループの一連の活動は、学生教育及び社会貢献の面で本学の評価を高めたものである。

[福井代表の受賞挨拶(要約)]

「六甲おろし」と言えば、プロ野球チームの応援歌や六甲山から吹き降ろしてくる「六甲嵐」をイメージするかもしれないが、レスコンに毎年神戸大学から出場しているチームの名称でもある。これまでのコンテストでの活躍もあって、「六甲おろし」と言えばこのチームもイメージする人が増えてきている。我々は、このチームを立ち上げるとともに、支援を続けている。



2004年(平成16年)に、それまで大阪府豊中市で開催されていた「レスコン」が、大震災を経験した神戸で開催されることになり、この機会に地元の神戸大学が会場として貢献しなければならないと参加を決意したのが始まりである。技術的には未熟であり、学生チームを結成してから出場しようと思っていたが間に合わず、とりあえず職員有志でチームを結成し、第4回(2004年)レスコンに参加した。

2年目は職員と学生の混合チームだったが、3年目以降は学生募集の甲斐もあり学生だけでチームが構成できるようになった。5年目(第8回レスコン)には学生のアイデアと熱意、そして我々の支援活動が効率良く化学反応を起こして「レスキューロボット工学大賞」を受賞し総合優勝を勝ち取ることができた。また、神戸市から「こうべユース賞」を受賞するまでに成長し、支援冥利に尽きる思いである。

職員チーム「六甲おろし」を立ち上げたあとは、学生の募集とロボット製作の技術指導、資金の捻出、地元実行委員として現地サポートにも取り組んだ。資金の捻出では、当初は神戸大学の教育研究活性化支援経費による戦略的・独創的な教育研究プロジェクト事業、科学研究費(奨励研究)で賄い、最近ではKTC((一社)神戸大学工学振興会)およびKTC機械クラブに毎年支援していただいております、関係者には深く感謝申し上げます。



(前列左端:福井、後列左端から義澤、中辻)

(2014年 福井喜一郎 記)